

D2 ケーヨーデイツー

**2022年2月期 第2四半期
決算説明会**

2021年10月1日

株式会社 ケーヨー

(東証1部：証券コード 8168)

1.業績の概要

(単位：百万円、%)

	2020/2期				2021/2期				2022/2期		
	第2四半期	売上比	年計	売上比	第2四半期	売上比	年計	売上比	第2四半期	前年比	売上比
売上高	55,555	—	107,628	—	61,611	—	113,411	—	54,492	88.4	—
荒利益高	18,685	33.6	36,505	33.9	21,658	35.2	39,748	35.1	19,735	91.1	36.2
経費高	18,408	33.1	35,980	33.4	17,428	28.3	34,859	30.7	16,425	94.2	30.1
営業利益高	276	0.5	524	0.5	4,229	6.9	4,889	4.3	3,309	78.2	6.1
経常利益高	650	1.2	1,219	1.1	4,576	7.4	5,602	4.9	3,731	81.5	6.8
当期純利益高	1,124	2.0	1,240	1.2	2,498	4.1	3,043	2.7	2,367	94.8	4.3

2.売上高の状況①《新店・閉店・改装の状況》

■ 出店・閉店推移 (出店 1、閉店 3店舗)

(単位：店)

	20年2月期			21年2月期			22年2月期
	上期	下期	年計	上期	下期	年計	上期
出店	1	0	1	0	0	0	1
退店	3	3	6	2	0	2	3
店舗数	175	172	172	170	170	170	168
期末店内売場平均面積(坪)	1,028	1,022	1,022	1,024	1,024	1,024	1,014

■ 出店 1店舗

店名	都道府県	開店日	店内面積
一宮八幡店	愛知県	2021年6月24日	1,444坪

■ 閉店 3店舗

店名	都道府県	閉店日	店内面積
稲沢店	愛知県	2021年5月9日	2,046坪
西野山店	京都府	2021年6月13日	875坪
一宮八幡店	愛知県	2021年6月16日	2,164坪

■ 全面改装 7店舗

3.売上高の状況②《商品動向》

■ 月次推移

全店	3月	4月	5月	1Q計	6月	7月	8月	2Q計	上期累計
売上高	△3.5%	△6.0%	△14.5%	△8.7%	△16.6%	△6.5%	△19.8%	△14.5%	△11.6%
客数	△10.9%	△10.8%	△16.1%	△12.9%	△13.9%	△9.5%	△18.4%	△14.0%	△13.4%
客単価	8.3%	5.4%	1.9%	4.8%	△3.2%	3.3%	△1.7%	△0.5%	2.2%
既存店	3月	4月	5月	1Q計	6月	7月	8月	2Q計	上期累計
売上高	△2.6%	△5.8%	△13.8%	△8.1%	△15.8%	△5.5%	△18.9%	△13.6%	△10.8%
客数	△10.1%	△10.6%	△15.3%	△12.3%	△12.9%	△8.3%	△17.3%	△12.9%	△12.6%
客単価	8.4%	5.4%	1.8%	4.8%	△3.4%	3.1%	△2.0%	△0.8%	2.0%

■ セグメント別動向

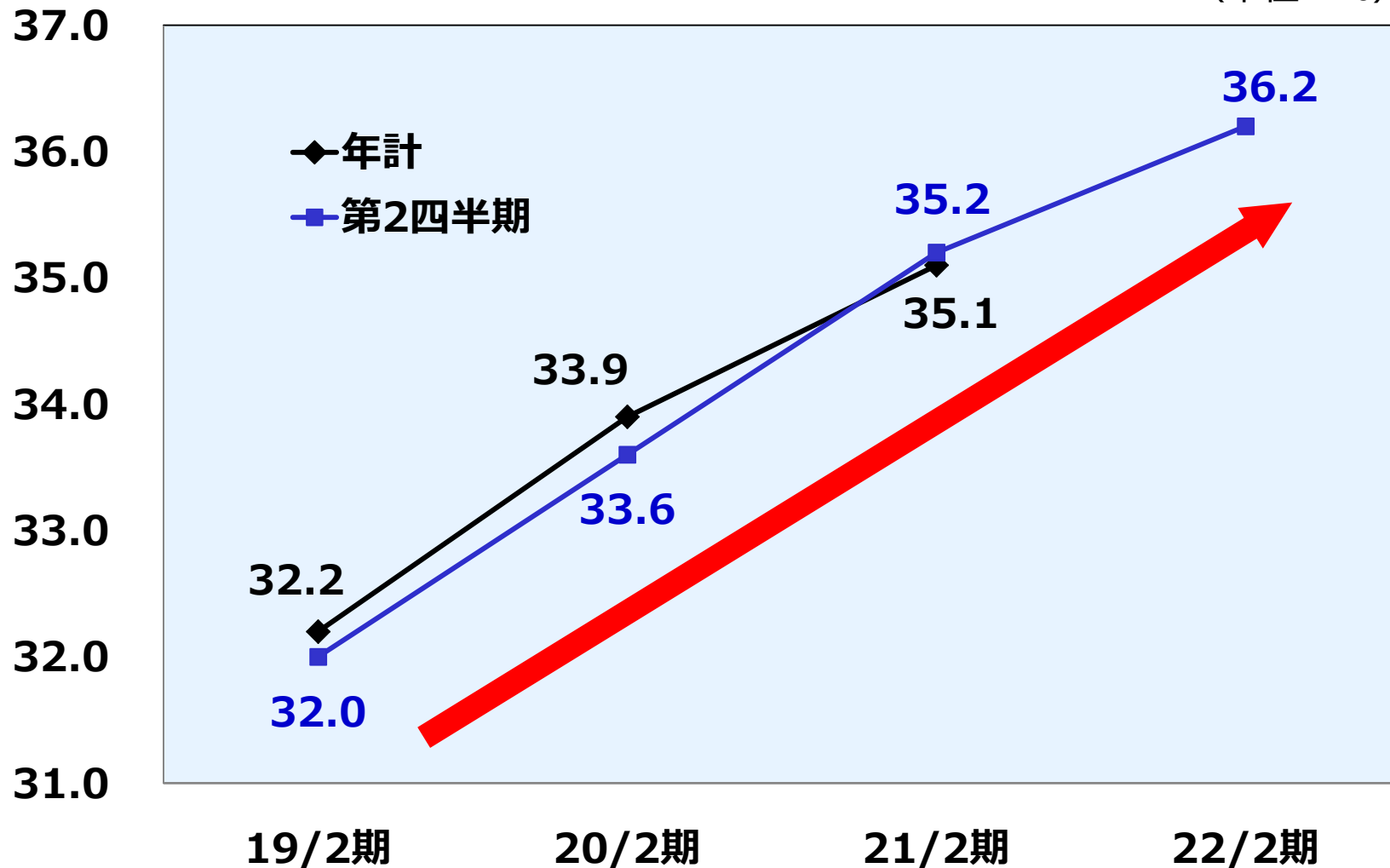
(単位：百万円)

	2021/2期		2022/2期		
	第2四半期	構成比	第2四半期	前年比	構成比
園芸	12,633	20.5%	12,020	95.1%	22.1%
ホームインプルーブメント	10,263	16.7%	8,973	87.4%	16.5%
ホームレジャー・ペット	8,808	14.3%	8,093	91.9%	14.9%
ハウスキーピング	18,402	29.9%	15,713	85.4%	28.8%
ホームファニッシング	4,156	6.7%	3,342	80.4%	6.1%
ホームエレクトロニクス	6,511	10.6%	5,464	83.9%	10.0%
その他	837	1.3%	883	105.5%	1.6%
合計	61,611	100.0%	54,492	88.4%	100.0%

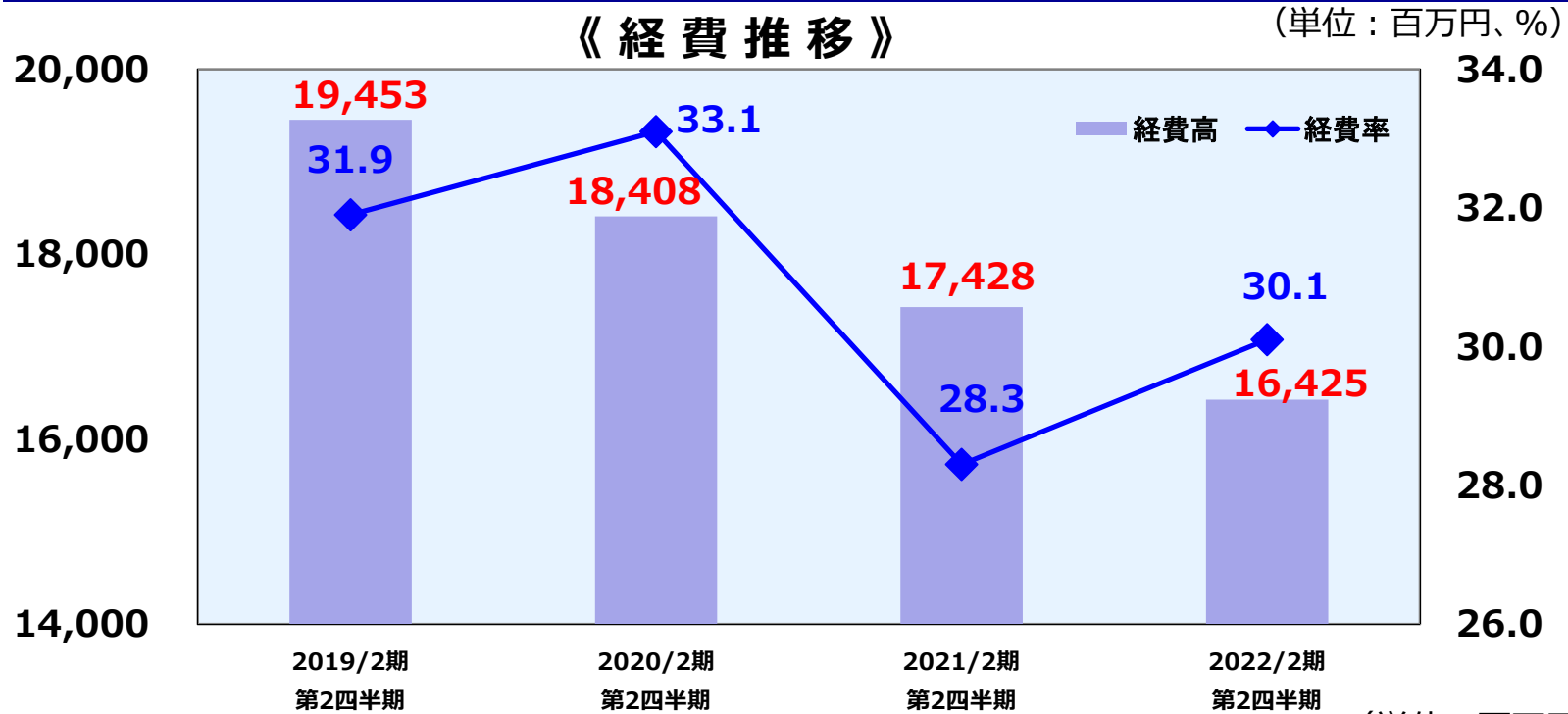
4. 荒利益率の状況

《 荒利益率推移 》

(単位：%)



5.経費の状況



(単位：百万円)

	2021/2期2Q	2022/2期2Q	前年差	前年比
広告宣伝費	461	512	+51	111.2%
給料及び手当	5,533	5,206	-327	94.1%
不動産賃借料	5,421	5,279	-141	97.4%
減価償却費	845	833	-11	98.6%
その他	5,166	4,592	-574	88.9%
経費高計	17,428	16,425	-1,002	94.2%

6.利益の状況

(単位：百万円、%)

	2020/2期				2021/2期				2022/2期	
	第2四半期	前年比	年計	前年比	第2四半期	前年比	年計	前年比	第2四半期	前年比
営業利益高	276	729.9	524	-	4,229	1,529.3	4,889	931.8	3,309	88.2
経常利益高	650	148.9	1,219	-	4,576	703.7	5,602	459.3	3,731	81.5
特別損益	1,091	-	689	72.6	△969	-	△1,204	-	△397	-
税金等調整前 当期純利益高	1,741	-	1,909	977.8	3,606	207.1	4,397	230.4	3,334	92.5
法人税等	616	-	669	-	1,108	179.6	1,354	202.4	967	87.3
当期純利益高	1,124	-	1,240	362.2	2,498	222.2	3,043	245.4	2,367	94.8

※特別損益 △397百万円

〈特別利益〉0百万円

〈特別損失〉397百万円

・店舗閉鎖損失 243百万円、減損損失 52百万円他

7.貸借対照表の状況

(単位：百万円)

	資産の部			負債・純資産の部			
	21/2期		22/2期	21/2期		22/2期	
	第2四半期	年計	第2四半期	第2四半期	年計	第2四半期	
現金および預金	12,489	6,464	2,884	買掛金	13,692	9,854	11,141
商品	23,781	24,376	24,620	短期借入金	7,692	2,545	2,445
流動資産	40,365	34,477	31,256	流動負債	28,925	20,991	19,464
有形固定資産	20,924	21,134	24,372	長期借入金	4,510	6,237	5,065
無形固定資産	1,338	1,195	1,110	固定負債	11,903	13,651	12,427
投資その他の資産	22,032	24,281	22,408	負債合計	40,829	34,642	31,891
固定資産	44,295	46,610	47,891	株主資本	40,520	40,658	42,618
				評価・換算差額等	3,310	5,787	4,638
				純資産合計	43,831	46,445	47,256
資産合計	84,660	81,088	79,147	負債純資産合計	84,660	81,088	79,147

8. キャッシュフロー等の状況

(単位：百万円)

	21/2期		22/2期		21/2期		22/2期
	第2四半期	年計	第2四半期		第2四半期	年計	第2四半期
設備投資 (前年差)	947 (-344)	2,052 (-235)	4,047 (+3,100)	営業CF (前年差)	10,734 (+6,746)	9,140 (+5,780)	2,200 (-8,534)
有利子負債 (前年差)	12,202 (-3,467)	8,782 (-5,292)	7,510 (-4,692)	投資CF (前年差)	△385 (-547)	△579 (-429)	△3,669 (-3,284)
自己資本比率	51.8%	57.3%	59.7%	フリーCF (前年差)	10,349 (+6,199)	8,561 (+5,350)	△1,469 (-11,818)
D/Eレシオ	0.28	0.19	0.16	財務CF (前年差)	△2,683 (+77)	△6,919 (-1,754)	△2,110 (+572)

9.業績予想

(単位：百万円)

	2021/2期				2022/2期			
	2Q	前年比	年計	前年比	2Q	前年比	年計	前年比
売上高	61,611	110.9%	113,411	105.4%	54,492	88.4%	104,700	92.3%
営業利益高	4,229	1,529.3%	4,889	931.8%	3,309	78.2%	4,900	100.2%
経常利益高	4,576	703.7%	5,602	459.3%	3,731	81.5%	5,750	102.6%
当期純利益高	2,498	222.2%	3,043	245.4%	2,367	94.8%	3,350	110.1%

※上記の数値は2021年9月29日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

《下期 前提条件》

- ・新店1店舗、閉店1店舗見込
- ・DCM棚割導入全面改装 1店舗+多部門改装
- ・既存店売上高前年比 98.0%
- ・荒利益率 35.4% 前年差 +0.5%
- ・経費率 32.2% 前年差 -1.4%
- ・特別損益 約-300百万円

10. 店舗の状況

《2021年8月末現在》

都府県別店舗数

店舗数(全店)	168
東北	10
関東	94
甲信	31
東海	21
近畿	12



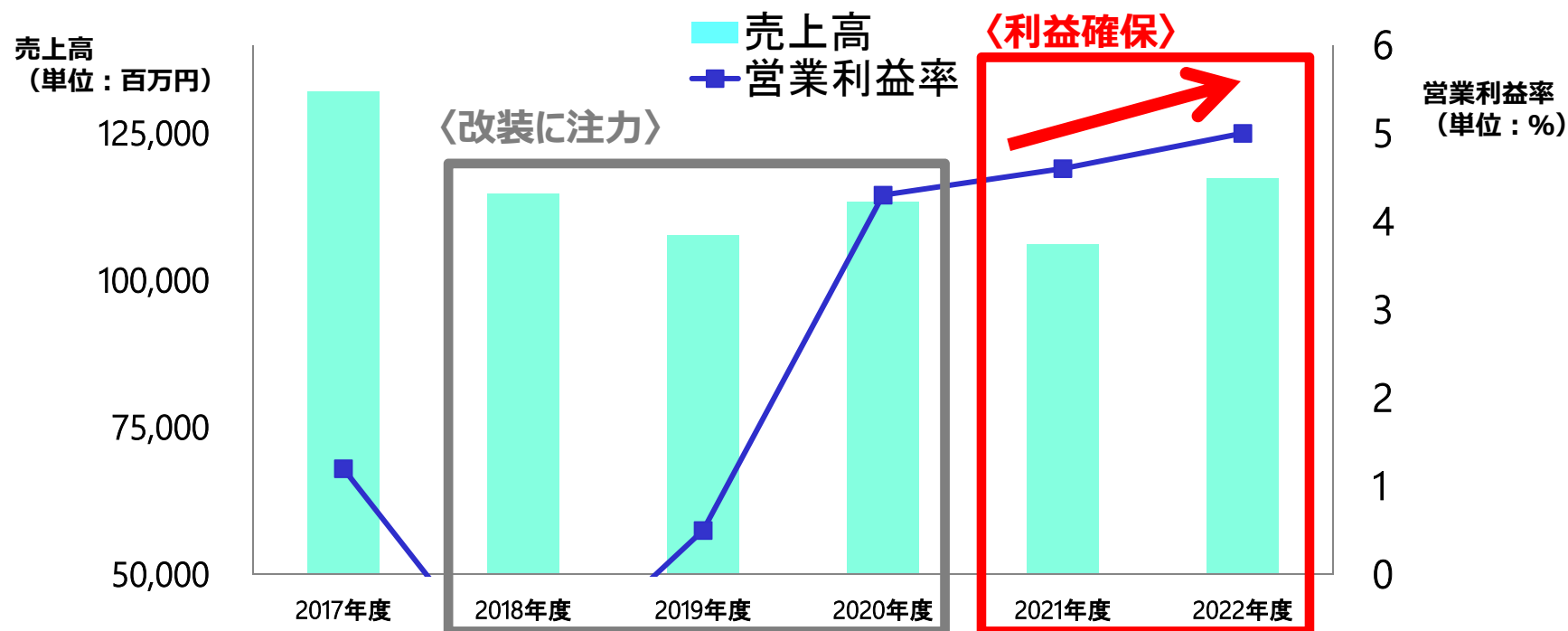
參考資料

中期経営計画の進捗

D2ケーヨーデイツー

2022年度を最終年度とした中期経営計画
売上高 **1,170** 億円 営業利益率 **5.0** %

2021年度は、改装の効果を受し利益確保をする。
売上高は減少してもV字回復へ軌道にのせる年。



D C M化の進捗

D2ケーヨーデイツー

全面改装によるD C M棚割導入と
部門構成比の適正化による効果を楽しもう！

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 (上期)
全部門改装	—	15	—	—	—
全面改装	5	15	34	23	7
新規出店	1	—	1	—	1
完全導入済 店舗数累計	6	36	71	94	101

※2021年上期 新規出店（一宮八幡店）は全面改装によりD C M棚割導入済のため、累計には含まれません。

**2021年度下期は、1店舗の改装を予定。
その他、部門改装等は継続して実施。**

前年のコロナ特需の反動減は下期も継続。
変化に対応した売場・サービスを提案。

PB商品拡販

売上高構成比を上げる。
21年2月期(実績) 25.8% → 22年2月期(計画) 29.0%

新しい生活様式

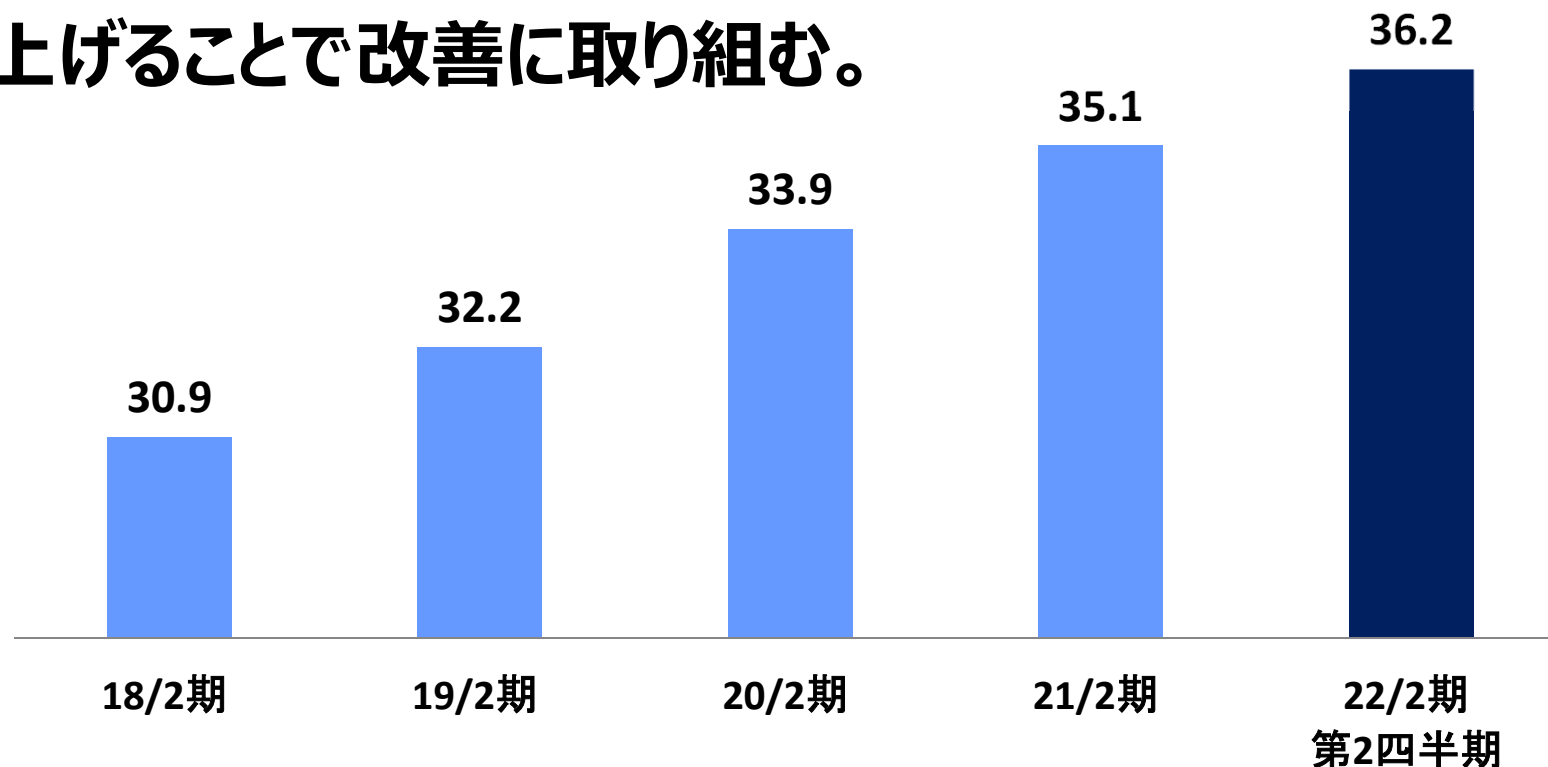
園芸・DIY・レジャーの強化
健康志向の高まりへの対応など

リフォーム 住まいるヘルパー

リフォーム・住まいるヘルパー部を
新設しサービスの強化。
リフォームサービス前年比130%超

商品入替、全面改装による荒利益率の改善効果は概ね享受。36%台へ

P B商品、D I Y・園芸用品の売上高構成比を上げることで改善に取り組む。



ICT活用など店舗オペレーションの見直し。
合わせて内製化によるサービス拡充を図る。

業務効率を改善し、
店舗人員の適正化により
内製化を強化！

家電取付、店舗修繕・環境保全等
外部委託業務を内製化

店舗人員
(一部)

サービス
拡充

店舗
メンテナンス

業務効率の改善により、店舗労働時間は削減。
同時に内製化によるサービスの迅速化が進む。

今後の方向性

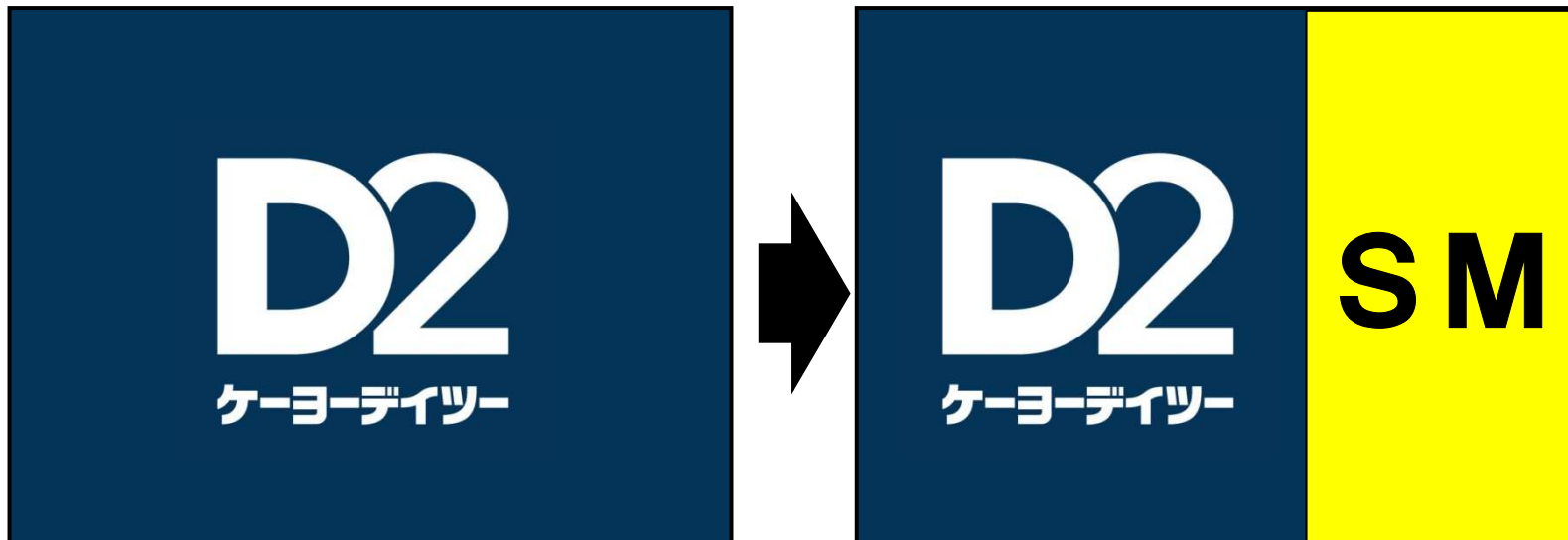
店舗の適正規模化、新規出店の再開により、
販売拠点の強化を進めていく。

SM等を誘致するための適正規模化を実施。

これにより、売場面積は減床となるが、収益力はアップ！

【旧一宮八幡店】

【新一宮八幡店】



下期も 1 店舗を計画。

今後の方向性

**SDGsの達成に向けた取り組みを推進し、
持続可能な地域社会作りに貢献していく。**

相次ぐ自然災害やコロナ禍において、社会的インフラとしての役割を果たす。
→より必要とされる企業となるため、4つの重要課題に取り組む。

- 地域社会との共生
- 環境問題への対応
- 労働環境の充実
- コーポレートガバナンスとコンプライアンスの充実

【2021年下期の取り組み】



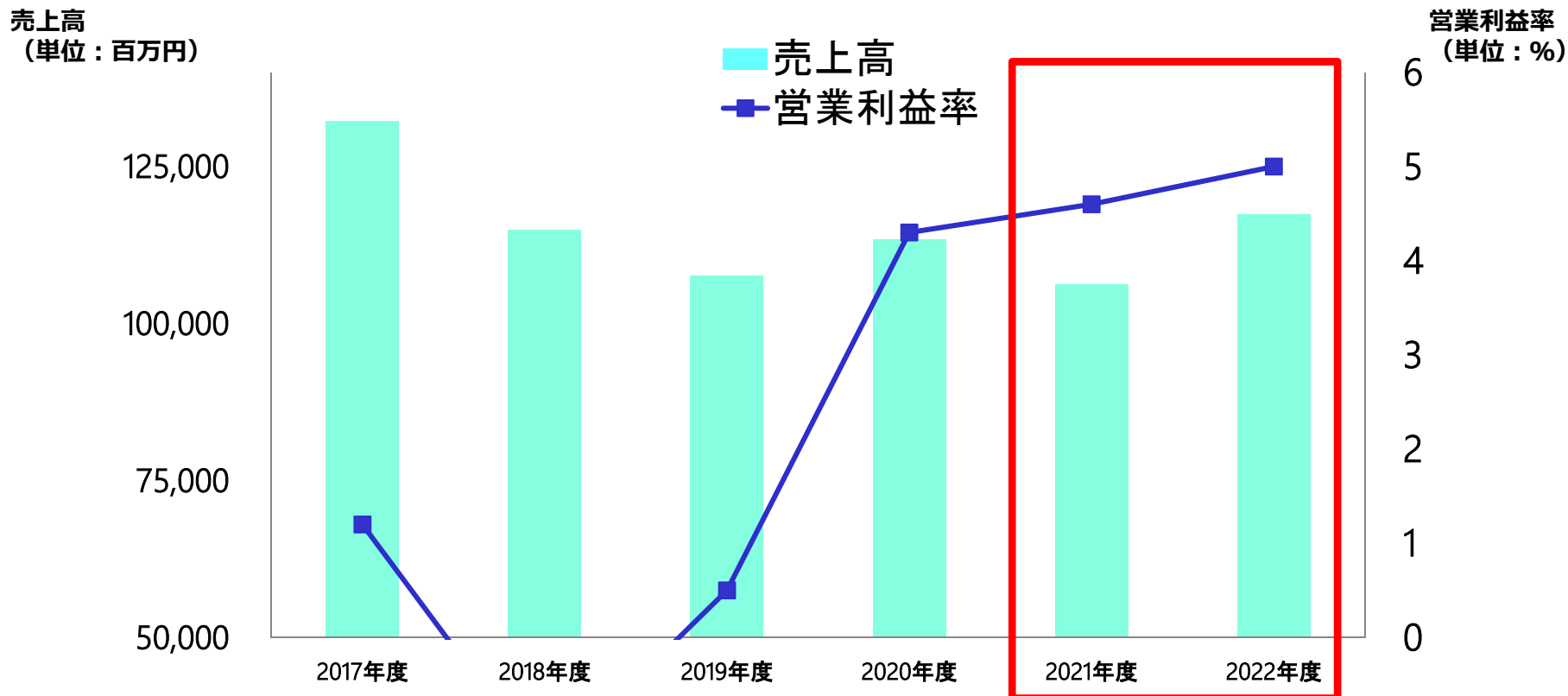
今期よりB3リーグへ新規参入する、千葉市をホームタウンとするプロバスケットボールクラブ「アルティエーリ千葉」とパートナー契約を締結。「アルティエーリ千葉」を盛り上げるとともに、SDGsに関連した取り組みを連携することで、共に地域社会を盛り上げる。

今後、この他の取り組みも一つひとつ実施。
(環境、労働環境、ガバナンスなど)

中期経営計画の達成

D2ケーヨーデイツー

2022年度を最終年度とした中期経営計画
売上高 **1,170** 億円 営業利益率 **5.0** %



本資料は2021年9月29日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。
本資料に記載した内容は、資料作成時点での当社判断によるものであり、その情報の
正確性、完全性を保証するものではありません。
また、ここに記載された内容が予告なしに変更することもありますのでご了承下さい。